

福井市社北小学校

令和5年度 6月号

R5.6.1 発行

〒918-8055 福井市若杉4丁目143

☎0776-35-2821 (fax:35-2719)

Mail : y-kit-e@fukui-city.ed.jp



♪学校のブログへは、
こちらからどうぞ♪
「社北小 Diary」でも
検索できます↓↓↓



子供たち
や学校の様
子をお知ら
せします

ありがとうございました！

授業参観

5月17日(水)・19日(金)



先日、授業参観がありました。今年度初めての授業参観、たくさんの保護者の方が来てくださいました。特に1年生は、教室には入ることができず、廊下の窓からのぞいていらっしゃる方もいるほどでした。入学や進級をして1ヶ月半が経ち、お子さんの学校での成長した様子を見ていただけたのではないのでしょうか。いつもと変わらない子、思わず保護者の方に手を振ってしまう子、にんまりと笑顔で手を挙げる子、どの子も張り切っているようでした。

5月8日から感染症法上の位置づけが5類に変わりました。これまで、保護者の皆様をはじめ、学校に関わる方々に、多大なご協力とご理解を賜りありがとうございました。5類に移行したとはいえ、今後も、手洗いや換気などに気をつけながら教育活動を行い、安全で安心な学校づくりをすすめていきます。



1年生が「学校たんけん」で校長室にやってきました。置いてあるソファや、大きな金庫(岩戸)を見て、興味津々な様子でした。いくつかの質問の中で、ある女子児童に、「校長先生は、どんなお仕事をしていますか？」と聞かれました。「たくさんあるなあ。みんなが安心して安全に過ごすことができ、楽しくお勉強できるように…」と、あれもこれもと答え始めようとしたのですが、最終的には、「子供も先生たちも、みんなが笑顔で過ごせるように、どうしたらいいかなあと毎日考えるお仕事をしています。」と答えました。スクールプランにも提示させていただいた通り、『わかる授業づくり』、『絆づくり・居場所づくり』を核とし、子供たちが「わかった！」「できた！」「やってみよう！」と笑顔が見られる学校。泣きながら登校しても、教室に入るところには笑顔に戻ったり、少し嫌なことがあっても、「また、明日ね」と笑顔で帰ったりできる学校。そんな笑顔のある学校をつくるために、教職員がチームとして取り組んでいきたいです。そのためには、やはり保護者の皆様、ご家庭や地域の皆様のご理解とご協力が不可欠です。子供たちの成長を願う気持ちは我々教職員も同じです。子供だけでなく、学校に関わる方々の笑顔がたくさん見られる学校だといいなあと改めて思ったひと時でした。

熱中症対策についてお願い…先日配付させていただいた通り、体育や外遊びの時間、登下校はマスクを外すように声をかけています。が、なかなかマスクを外せない児童がいます。熱中症の場合、感染症や花粉症における命を落とす危険性よりかなり高いことは、よくご存じだと思います。学校では**気温が高くなる前に声をかけていきます**。ご家庭でもよく話をし、声をかけてくださるとありがたいです。

情報モラル教室



ブログでもお伝えした通り、2年生と3年生が、「情報モラル教室」に参加しました。講師は、福井市教育委員会 青少年課(少年愛護センター)の藤井先生です。藤井先生も教員ですので、よく子供たちの興味や関心を理解し、わかりやすく話をしてくださいました。内容は、「インターネットの利用について」です。まず、現状を知ることから始まったのですが、左の写真からも分かるように、現状は驚くべきものです。内閣府の調査によると、令和4年度のインターネット利用平均時間は、1日

令和4年度 青少年のインターネット利用環境実態調査
【令和5年3月 内閣府】

インターネットの利用時間(平日1日あたり)

	平均 利用時間	3時間以上 の割合	5時間以上 の割合
小学生 (10歳以上)	213.7分	52.7%	24.2%
中学生	277.0分	69.9%	36.7%
高校生	345.0分	78.0%	50.2%

お子さんがどれくらいタブレットやゲームに時間を費やしているか、ご存じですか？ルールはありますか？守れていますか？

あたり小学生(10歳以上)は214分、中学生は277分、高校生は345分です。しかも平日の！です。もちろん、学習で使うこともあるでしょう。調査対象の小学生は、10歳以上ですので、2・3年生は関係ないようにも思いますが、依存症にならないため、つまり未然防止ということで、お話をさせていただきました。スライドを見ながら、インターネットを利用する時間が増えることは、睡眠や学習の時間が減っていき、心身に大きな影響を及ぼすことも、藤井先生の丁寧なお話で理解できたようでした。今後、どの学年でも「情報モラル教室」は行っていきます。

タブレットやスマートフォン、ゲームなどのインターネット利用について、親として教育に携わる者として大変興味深い話があるので紹介します。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんね。

「Windows」シリーズなどを開発している Microsoft の共同設立者であるビル・ゲイツ氏の話です。インターネットを世界中に広げた彼は、自分の子供には14歳までインターネットを使わせなかったそうです。ビル・ゲイツ氏は、子供のころは、強情で反抗的、学校では不真面目で勉強もせず、いわゆる「いい子」ではなかったそうです。困り果てた両親は、優秀な教育コンサルタントを雇いましたが、どうすることもできず逃げ出してしまいました。そこで、両親は強制はやめて、彼がやりたいことをやらせました。それについて、ビル・ゲイツ氏は、「成長するにつれて、楽しみが増えていった」と語っています。

ビル・ゲイツ氏には、3人の子供がいますが、インターネットについては、きちんとしたルールがありました。それは、どこの親御さんも同じですね。どのようなルールかということ、『14歳まではスマートフォンを与えないこと』『スマートフォンを与えた後も、寝る前の使用は禁止すること』『食事をするときはスマートフォンの使用は一切禁止』といったものでした。そのもととなる考えは、「すべての子供たちは、大きな可能性を秘めている。重要なことは、質の高い時間を多く持つことだ」ということだそうです。

インターネットの与える良い影響も悪い影響もよく理解しているビル・ゲイツ氏のこの話は、ちょっと考えさせられます。



ビル・ゲイツ
米・Microsoft
共同設立者

アウトメディアにチャレンジ！(6/3~6/8)

6月3日(土)より、「アウトメディアチャレンジ週間」が始まります。意識してメディア機器から離れることで、メディアコントロールができる能力を身に付けたり、過度な使用による生活習慣の乱れを改善したりします。また、お子さんとお家の方がしっかりと相談をして、一緒にメディアに関するルールをつくり、一緒に取り組むということもひとつのねらいです。

メディアと上手く付き合い、心身ともに健康ですぐすためにどうするかを考える良い機会です。

どうぞ、ご協力をお願いします。



「チョウのお腹が見たいの。」と言って、定規をもってきて測り始めた3年生の女の子。もちろん、タブレットでも、色々な角度から静止画で詳しく見ることができます。でも実物や本物を見る方が、さらにワクワクとして知的好奇心が揺さぶられるのでしょう。そんな様子が見られました。

